

出動命令 遅れる！ - 西日本防災システム

2013 10 07

10月7日東京消防庁は、世田谷区内で6日夕方に発生した2件の別々の火災を総合指令室の男性消防士長(38)が同一の火災と勘違いし、消防隊の出動命令が約20分遅れるミスがあったと発表しました。出動が遅れた方の火災では、住人の20代女性がのどにやけどを負う重傷を負ったようです。同庁は消防士長に対する処分を検討しているそうです。

東京消防庁によりますと、6日午後4時33分頃、世田谷区奥沢1の民家から出火したと119番通報があり、その1分後に約800メートル離れた奥沢2の民家でも火災があったと通報が入りましたが、消防士長はこの火災も1件目と同じ火災だと思い込み、2軒目の火災に対して対応しなかったそうです。

その後、奥沢2の2軒目の火災通報が相次いだため、同僚が誤りに気付いたそうです。消防隊到着時、付近の住民らが初期消火作業の最中で、火災はほぼ鎮圧状態だったようです。ここの住人の女性は近隣住民に救助され搬送されましたが、煙を吸って重傷のようです。

記者会見した東京消防庁の参事兼警防課長は「重く受け止め、再発防止に努めたい」と話していたそうです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

